研修報告　　発達勉強会　「話す」の理解

２０２２年9月２４日

～話すときルールついて～
〇朝の会などで昨日の出来事を発表する
「いつ」「どこで」「どこまで」などを明確にしておく
〇授業中の発表
「はい、私は～と思います。理由は～だからです。」などのモデルを掲示しておく
質問は話し終わってから、友達の発言中は意見を言わない等のルールを明確にしておく
〇グループ討議
司会や記録係、発表係を前もってきめておく➡役割や順番を明確にする

～何について話したらよいか分からない～
　前もって話の題材を提示しておく、題材を選択性にする（お題サイコロやお題 box 等）

～話の組み立て方が分からない～
　フォーマットを作っておき、それに基づいて話していくようにする➡「型」が大切
イラストや写真も併用すると説明の苦手さをカバーできる

～意味間違い～
物事や言葉の理解に関する「概念」「選択的注意」「解釈」に注目し、状況と言葉を結び付けていく

まとめ
・「型」を作る事で苦手さや伝え方を支援していく事や、役割や順番などの見通しを持たせる事も大切な支援となる。
・概念や語彙の理解（意味）が関係する場合や文法の理解（統語）が関係する場合など、しっかりとつまづきをアセスメントして、その子に合わせた支援を行っていく。